

雨傘（カッパもOK）

そうじ用具（ゴム手袋・デッキブラシ・スコップ・箒塵取り・雑巾等）

春物衣類（洗濯済みのきれいなもの。サイズ等分けてもらえるとう助かります）

家電品（冷蔵庫・洗濯機等。輸送手段を考えなければならないので、まずはリストアップさせてください）

以上ですが、もし、新しくお買い求めになられるのであれば、支援金・義援金の方が有効である、と考えます。物置・倉庫やタンスの肥やしになっているものがありましたら、北井事務所にお持ちいただけると嬉しいです。

《4.17 神奈川から名取へ！元氣屋台村》

神奈川県下の飲食業者 11 社『神奈川イレブン』+ 4 社が賛同してくださり、最終的には 5 千名へ計 1 万食の炊き出しを行っていただきました。

被災者および被災地への熱い思いがあふれ出た、スーパー炊き出し！皆さんそれぞれが主人公で大活躍され、大盛況＆大成功でした。

《近況報告》

一昨日は七ヶ浜町災害ボランティアセンターで支援活動に入りました。しかし日曜日にアキレス腱を痛めてしまい、戦力外で今朝戻りました。

「落選したのに、いつまでやっているんだ」とのお叱りもございますが、任期は 4 月 29 日までです。今回の活動の真価は、これからお見せします。

税金で給料をもらう立場をまっとうするため、「今やるべきことを、きっちりやって」その上で、これまでの活動と任期を一旦、完結して参ります。

あとしばらく髭面の北井より

追伸

「元氣屋台村」が大好評でしたので、各地で継続したいと考えております。また、大型団体にはない、小回りの利いた被災地援助も続けます。支援金でサポートいただけると助かります。

【平成 23 年 4 月 21 日（木）】

床屋さんとの会話から

今日は床屋さんに行き、ほぼ 4 週間ぶりに髭をそりました。

これから、被災地での都合 18 日間の支援活動を基に「神奈川県の大規模災害時における提言書（仮称）」の取りまとめに入ります。仕事モードです。

なにしろ、4 月 29 日までは任期があり、税金で給料をもらう立場です。最後まで職務を全うします。

そして床屋さんに、「なぜこの時期に被災地で支援活動を続けていたのか？」ちゃんと皆さんに伝えなさい、と進言されました。

ですので、北井が 4 月 3 日に知人に宛てたメールをそのまま掲載しますので、

今さらですが、ご覧になってやってください。

以下の通りです。

《4 月 3 日 近況報告》

北井です、いつもありがとうございます。

3 月 25 日に戸塚を出発して以来、現在も被災地で災害ボランティア活動中です。まさに国家レベルの大災害で、被災地は、いまだ『復興』なんて言葉を口に出せないくらい、すさまじい状況です。

なぜ選挙中、被災地にとどまって支援活動を続けているのか？その訳は、以下の通りです。

そもそも、このような「有事」の際に選挙を施行することに疑問を持ち続けています。ガレキの撤去は、いまだ一部に過ぎず、ほとんどはそのままです。そして多くの被災者がその中にいらっしやることは、容易に察せられます。

また我々は、福島県民に原発のリスクを背負ってもらいながら、そのお蔭で電気を使ってきた立場です。

福島の方々が一段落するまでは、皆で支援をし、選挙はそのあとに行うべきである、とこれまで考えてきました。

しかし、選挙は予定通り施行されることになりました。

自分が原発に乗り込んで行っても、何が出来るわけではありません。専門家に任せるほかないのが現実です。

なので、被災地のひとつである宮城県にとどまり、災害ボランティアセンターを通じての支援活動を続けています。

しかし、ただ単にボランティア活動しているだけではないのです。

全国各地から集まって来る沢山のボランティアとともに現場に入り、けっして視察では手に入れることの出来ない「生」の情報をキャッチしています。

ガッチリ仕事につなげて行っています。

今後の神奈川県の災害対策や防災対策に、必ずや役立つと確信しています。

ちなみに、支援物質を届けながら視察に来る政治家は、大勢います。そして行政から、「あんなことしました、こんな対応しました」と説明を受け帰っていくのです。

今回の選挙は、4 月 29 日まで任期のある「現職」=税金で喰わせてもらっている立場=としてスジを通します。

けっして「平時」ではない、戦後最大の「有事」のさなか、選挙運動しながら給料貰うことも、どうか感じています。

とにもかくにも、候補者が棄権するわけには参りませんので投票日には戻ります。

あとまだ、しばらく留守しますが、どうかご理解賜れば有り難いです。3 月末までの活動報告は、ホームページに掲載しました。どうか皆さんで見てください

さい。

そして、胸張って投票日に戻ります。

無精髭の北井より

以上、こんな生き方しか出来ない北井ですが、もしそれでもよろしかったら今後とも御付き合ってください。

「直球勝負！」だけじゃなくて「変化球」も覚えなさい、なんてことも言われています。でも、それじゃあ北井が北井でなくなってしまうので、「初志貫徹」とことん貫いてやってみます。

東北 戸塚 北井

「防災対策、防犯と一緒に」

県議の北井さん、選挙期間に支援活動



被災地で撮影した現地の人の姿に見入る北井さん（4月14日事務所）

メディアでは伝えられていないことがある。防災対策には、防犯の観点が必要不可欠だ。

戸塚区選出の県議会議員、北井宏昭さん（44）は、選挙期間中、被災地での支援活動を行った。4月1日からは、県議会議員選挙の運動期間中、被災地での支援活動を行った。4月1日からは、被災地での支援活動を行った。4月1日からは、被災地での支援活動を行った。

「夜に運転しないで」。現地の消防団から厳しく注意された。メディアではあまり伝えられていないが、地震発生後、被災地では強盗被害が散見された。パルで車の窓を割って物を盗み、家主が避難所に身を寄せている間に家屋に侵入、ある家庭では、地震前に亡くなった人への香典までも盗まれたという。視察でなく、現地で体を動かす、人と話す中で生きた情報を手にする。活動中は、政治家としての視点も生かそうと考えていた。災害時に犯罪はどうかという点も、防災と防犯対策を一緒にやらなければならない。被災地に投入する警察人員を増やし、治安を維持させることが必要と考えた。

北井さんが戸塚区に戻ったのは投票日の朝。結果は、落選。同29日までの現職の間に、今回の活動を踏まえた提言書を県に出す考えだ。4月14日夜、北井さんは事務所取材に込めながら、活動の様子を取った動画を自身のブログにアップしていた。3月29日の映像、「車修理という自分の仕事を生かし、（津波で）壊れた車をカムバックさせる。被災した物が散乱した室内を背景に、決意を語る現地の人たちが映っていた。

4月21日付のタウンニュース戸塚区版。

北井が、選挙期間中、ずっと被災地で支援活動を続けていたことを知った記者が、取材してくれたものです。

防災対策と防犯対策は一緒に進めることが重要です。

【平成23年4月22日(金)】

副知事に帰庁報告

松沢知事が退任記者会見を行っている同時刻に、副知事を訪ね、3月26日～4月9日および4月16日～18日までの支援活動を報告しました。

副知事には動画映像もご覧いただき、今後の大規模災害対策について意見を交わさせていただきました。そして任期末の4月28日に「提言書」を提出する旨を伝え、その応対をお願いしました。

いよいよ任期最後の仕事です。

同じく、今日は政務調査費の収支報告の作成作業。膨大な領収書との戦いは、4月30日以降も続きそうです。

【平成23年4月26日(火)】

提言書作成中

ただ今、被災地での活動を基にした「提言書」を作成中。

その中の一つ、河川沿岸主要地域の海拔の再確認。

- ・自分がどんな場所にお住まいなのか？を知ることは重要です。

以上、任期満了まであと3日の北井より

追伸

支援物資のお願い。

眠っている「鉛筆削り」がございましたら、お譲りください。

アキレス腱の状態もだいぶ良くなりました。5月1日に被災地向う予定です。

追伸

「神奈川から名取へ！元気屋台村」の第2弾を5月22日(日)に行うことが決定しました。

大型免許お持ちの方のご協力をいただけると助かります。

【平成23年4月27日(水)】

Jリーグ公認ファンサイトから～支援物資報告

Jリーグ公認のファンサイトで素晴らしい写真を見つけました。おそらく名取市の方が、Jリーグの試合で4月17日(日)神奈川イレブンの炊き出し「神奈川から名取へ！元気屋台村」をメッセージボードにして、観客席から伝えてくださっています。

<http://www.jsgoal.jp/photo/00074800/00074883.html>

是非、見てやってください。

そして、報告が遅くなりましたが、過日お預かりいたしました「ランドセル」「ピアノ」「ソプラノ笛」「アルト笛」「木琴」「学用品」は、石巻市立門脇小学